

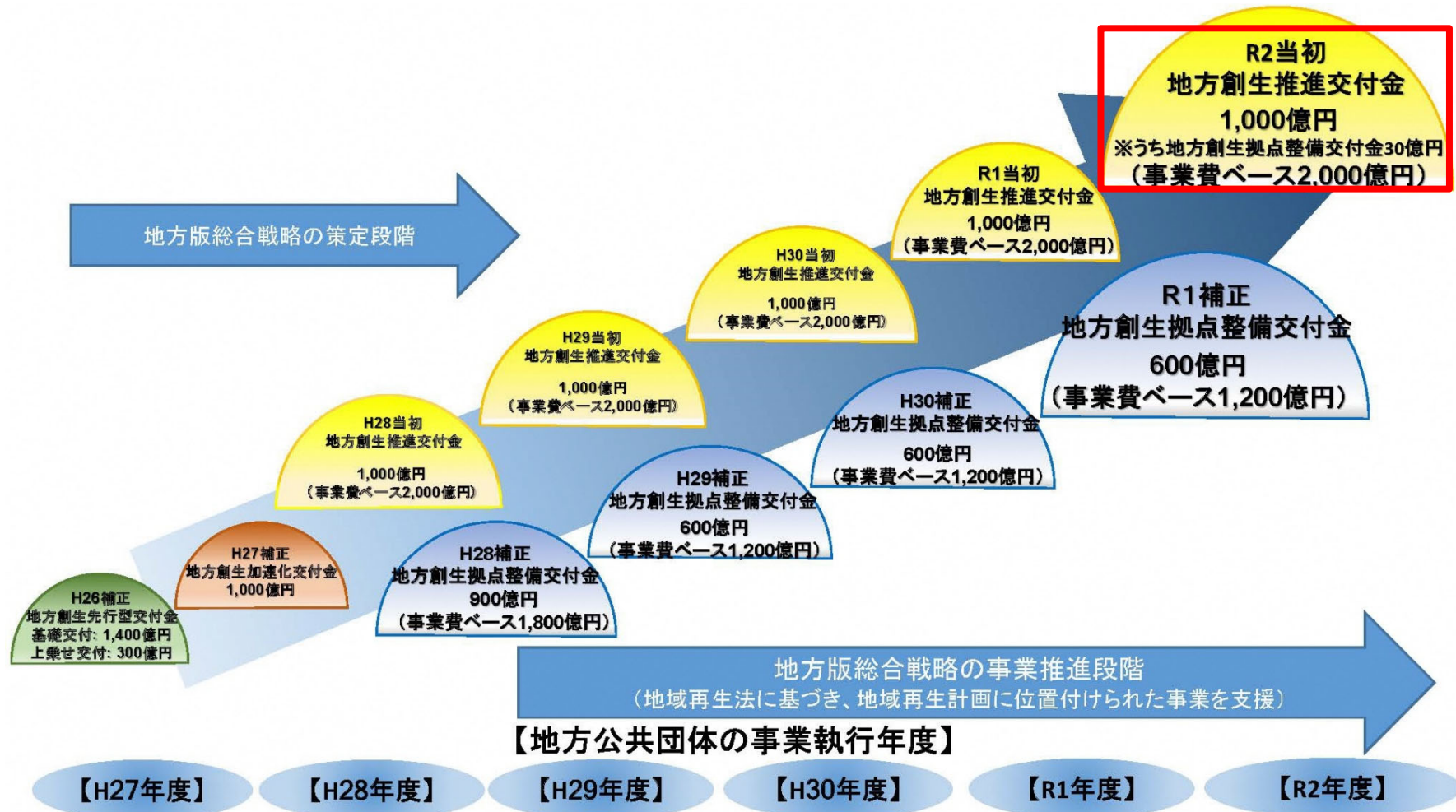
令和 2 年度

地方創生関連交付金事業の概要

地方創生関連交付金事業とは

【概要】

- 自治体の自主的・主体的な取組みで、先導的なものを支援
- KPIの設定とPDCAサイクルを組み込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組みを支援



令和２年度に実施した事業

※「地方創生推進交付金」(交付率:1/2)を活用

- ①エンジニアフレンドリーシティ福岡の推進
- ②Society5.0を支えるAIエンジニア支援
- ③外国人材の受入・共生事業
- ④アクティブシニアの生涯現役さきがけ事業

①エンジニアフレンドリーシティ福岡の推進

事業費:67,055千円

1 目的

国内外の優秀なエンジニアが集まる環境を創出し、エンジニアによって生み出される新サービス等を通じて経済成長や市民生活の向上を図る。

【総合戦略における位置づけ】

<基本目標Ⅰ>

しごとを増やし、活力につながる人の流れをつくる

(ア)福岡市グローバル創業・雇用創出特区の推進と新たな価値の創造

(イ)地域産業を支えている産業の競争力強化

2 実施内容

■エンジニアが集まる場の提供

コロナ下でも、オンラインで交流が行える場を提供するために、2020年5月に「オンライン・エンジニアカフェ」を開業。エンジニアやエンジニアを目指す方からの相談等に対応し、エンジニアが活躍できる環境をサポートする。



■イベント・セミナーの開催

表彰やエンジニア向けのイベント(フェスティバル)を開催



<表彰式>



<フェスティバル(オンライン開催)>

■情報発信

エンジニアやエンジニアコミュニティに関する情報を発信



3 KPIの達成状況

KPI	R2n目標	R2n実績	達成率
福岡市におけるソフトウェア業及びインターネット付随サービス業の従業者数(人)	27,727	公表待ち	—
福岡地域の情報処理技術者の有効求人倍率(倍)	2.50	1.45	172.4%
エンジニアからの相談対応件数(件)	120	253	210.8%
赤煉瓦文化館の入館者数(人)	41,621	39,559	95%

②Society5.0を支えるAIエンジニア支援

事業費:5,673千円

1 目的

IT企業等のエンジニアを対象にAI等の研修及び実践訓練を実施することで、Society5.0実現のための重要な役割を担うAIエンジニアの育成を支援し、企業等におけるデジタル変革や働き方改革をより一層推進する。

【総合戦略における位置づけ】

＜基本目標Ⅰ＞

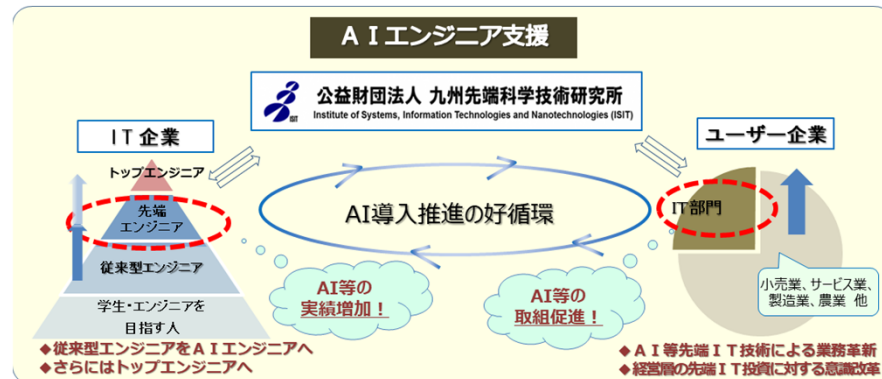
しごとを増やし、活力につながる人の流れをつくる

(ア)福岡市グローバル創業・雇用創出特区の推進と新たな価値の創造

(イ)地域産業を支えている産業の競争力強化

2 実施内容

■本市外郭団体の九州先端科学技術研究所(ISIT)と連携して実施



■キックオフ・イベント

AIの第一線で活躍する研究者等による、最新のAI・DX関連技術や人材育成などについての講演をオンラインにて配信。

AI・DXの活用を第一線でリードする講師から最新のAI・DX関連技術やその活用のための人材育成などについてご講演頂きます。またISIT、ふくおかISTが10月から実施するAI・DXセミナーについても紹介いたします。

講演1 DXの要諦はヒト・組織・プロセスの連携！ヒト＝AI・DX人材をどう育成するか？ 講師：村上 和彰氏 株式会社DXパートナーズ シニアパートナー＆代表取締役 九州大学名誉教授	講演2 AIについて経営者が知っておきたいこと 講師：西山 圭太氏 東京大学未来ビジョン研究センター客員教授 一般社団法人日本ディープラーニング協会 特別顧問
講演3 AI・ディープラーニング最前線 講師：岡田 隆太郎氏 一般社団法人日本ディープラーニング協会 理事兼事務局長	講演4 AI・DXセミナーで実施するAI関連講座紹介 講師：システム開発技術カレッジ（ふくおかIST） 講師：酒部 加世子氏 株式会社AIIST AIソリューションプランナー

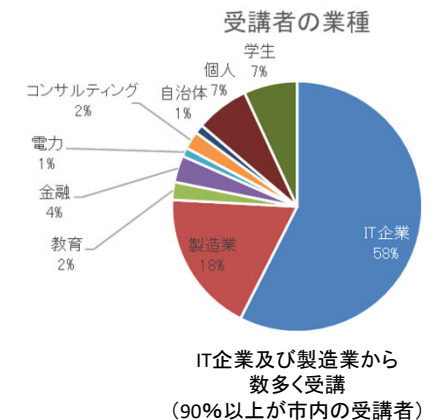
セミナー開催案内チラシ（抜粋）

■AI開発者向け研修

初心者からAIを開発するために必要なプログラミングスキル・機械学習周辺知識の獲得を目指す技術者研修を実施。

■AI開発者向け応用研修

ビジネスへの活用を前提とした上でAIの開発方法や考え方を学ぶ、課題学習型による上級技術者向けの研修を実施。



3 KPIの達成状況

KPI	R2n目標	R2n実績	達成率
本事業への参加後、AI関連業務に従事した人の割合(%)	10	R3n 調査予定	—
研修修了者数(人)	90	87	96.7%
研修開催回数(回)	20	16	80.0%
実践訓練における解決課題数(件)	3	1	33.3%

③外国人材の受入・共生事業

事業費:8,112千円

P5

1 目的

外国人住民との相互理解が深まり、外国人にも暮らしやすく、活動しやすいまち、また、海外の優秀な学生が都市の魅力を感じて留学先として選び、卒業後も福岡市を拠点にグローバルに活躍できるまちの実現を目指す。

【総合戦略における位置づけ】

<基本目標Ⅰ>
しごとを増やし、活力につながる人の流れをつくる
(ウ)新たな雇用につながる企業等の誘致
(オ)活力につながる人材の還流・定着等
<基本目標Ⅲ>
超高齢社会に対応した持続可能で質の高い都市をつくる
(イ)ユニバーサルデザインの理念によるまちづくり

2 実施内容

■共生の地域づくり事業

・外国人住民と出会うきっかけを提供し、相互理解を促進するため、地域住民と外国人との意見交換会・交流会・ワークショップ等を実施

・日本の文化・習慣(生活ルール・マナー等)を啓発するため、交流事業の場で活用するパンフレット、動画を作成

■高度外国人材獲得推進事業

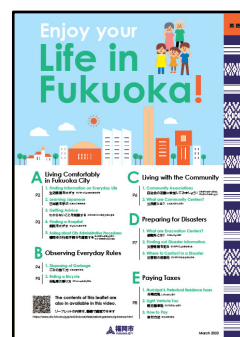


・福岡市内大学に在籍する留学生の福岡に留学するに至った経緯や実際の留學生活についての物語を市の公式ホームページ上に、日本語、英語、留学生の母国語で公開

福岡市HP
「福岡留学ストーリー」
My Story in Fukuoka City



令和2年10月31日実施
地域住民とのオンライン文化交流会



生活ルール・マナー啓発
パンフレット
Life in Fukuoka (英語版)

3 KPIの達成状況

KPI	R2n目標	R2n実績	達成率
地域の国際交流事業が実現した件数(件)	20	19	95.0%
地域の行事への外国人参加率(%)	R3nアンケート実施予定(R3n目標40%)		
福岡市内の大学・大学院・短期大学に在籍する留学生数(人)	3,923	3,644	92.9%

④アクティブシニアの生涯現役さがけ事業

事業費:81,939千円

1 目的

健康寿命の延伸を図るとともに、保健福祉医療分野の新たなサービスを創出する仕組みを構築し、超高齢社会に対応した活力ある都市づくりを進める。

【総合戦略における位置づけ】

＜基本目標Ⅲ＞

超高齢社会に対応した持続可能で質の高い都市をつくる
(ア)生涯元気に活躍できる社会づくり

2 実施内容

■「福岡100」の推進

- ・人生100年時代を見据えた持続可能な健寿社会のモデル構築を目指し、社会的ニーズや効果が高い事業をリーディング事業として実施



■シニア活躍応援プロジェクト

- ・働きたい高齢者と企業の多様な雇用をマッチングする仕組みや環境をつくり、高齢者の就業を応援



■福岡ヘルスラボ運営

■認知症コミュニケーション・ケア技法「ユマニチュード®」講座の普及

■健康・社会参加インセンティブ制度検討

■地域との協働による買い物等支援推進事業

- ・買い物支援推進員を設置し、企業や元気高齢者等の多様な主体の参加と地域資源の掘り起こしを進め、高齢者の買い物などの支援に取り組む地域団体等と、企業等のマッチング(橋渡し)を行い、地域ごとの特性やニーズに対応した持続可能な支援の仕組みづくりを推進

【実施イメージ】



3 KPIの達成状況

KPI	R2n目標	R2n実績	達成率
活躍シニア数(人)	1,530	1,215	79.4%
行動変容した市民数(人)	123,000	59,020	48.0%
新たな事業創出数(事業)	21	20	95.2%
海外展開する事業者数(事業)	8	0	0%